

(Pinkwashing Israel による呼びかけの日本語訳)

テルアビブ国際 LGBT 映画祭をボイコットしてください

パレスチナのクィアたちとその賛同者たちは、[BDS 運動](#)の一環として、2018 年 5 月 31 日から 6 月 9 日に開催されるテルアビブ国際 LGBT 映画祭 (TLVFest) のボイコットを呼びかけます。わたしたちは、[国際的な映画製作者のみなさん](#)に、この映画祭から作品を引き揚げ、パレスチナの人々の人権が尊重されるまでイスラエルに対する[文化ボイコット](#)を呼びかける、パレスチナ市民社会からの要請を尊重することを求めます。パレスチナの人びとは、イスラエルがその国際法違反についての責任を果たすよう、世界中の良心をもつ人々に、アーティストたちがイスラエル国内で自分たちの作品の上演や発表をしないようもとめることを含めて、協力を要請しています。このパレスチナからの[文化ボイコットの呼びかけ](#)を留意する世界中の文化人たちは、映画製作者を含め、増加しています。そのなかには、ジョン・グレイソン ([John Greyson](#))、ミラー・ナーイル ([Mira Nair](#))、ケン・ローチ ([Ken Loach](#))、ザ・イエスマン ([The Yes Men](#)) そしてマイク・リー ([Mike Leigh](#)) がいます。こうした動きは、イスラエルがパレスチナ人たちの権利を抑圧し否定しつづけるあいだは、業務平常通りなどというものはありえない、というメッセージをイスラエルに送っています。

去年は、パレスチナのクィアたちからの呼びかけに連帯を示して、TLVFest から [5 人の監督が](#)[出展作品を引き揚げ](#)ました。[この際](#)南アフリカのジョン・トレンゴヴ ([John Trengove](#)) は次のように述べました。

「アパルトヘイト体制下のたたかひの痛みが、わたしたちの集団的な意識においてははまだ生々しく残るなかで、多くの南アフリカの人々にとって、この問題は非常にセンシティブなものです…わたしがいま知っていることを踏まえれば、わたしが出席を取りやめることは不可避であると感じています…この映画祭と(わたしがそれに参加すること)が、イスラエル政府による人権の侵犯から関心を逸らさせうるのであるという事実を、見過ごすわけにはいかないのです。」

このテルアビブ国際 LGBT 映画祭は、イスラエル国内の、国際法の諸違反に深く共犯する複数の存在に支援をうけています。イスラエル文化省は、この映画祭を支援する組織の一つで、2005 年からイスラエルの海外での肯定的なイメージを推進するプロジェクトである、ブランド・イスラエル ([Brand Israel](#)) を率いています。このプロジェクトはパレスチナ人たちに対する、占領と暴力の日常的なリアリティから注意を逸らせるためのものです。この映画祭は、イスラエルによる占領や入植者植民地主義、そしてアパルトヘイトから注意を逸らせそうした状況を正常化するための、いわゆる[ピンクウォッシング](#)として知られる、ゲイ・ライツのシニカルな利用を推進しています。したがって、この文化ボイコットというのは、アーティスト的な創造への検閲ではありません。むしろ、映画製作者を含めた国際的なアーティストたちに、パレスチナ人たちの人権をイスラエルが尊重するまで、TLVFest といった、イスラエル政府の支援を受けたイスラエルの文化イベントに参加しないことを求めるものです。

わたしたちは、映画制作者のみなさんに、TLVFest やテルアビブ・プライド 2018 (TLVPride 2018) といった、イスラエル政府とその提携組織に、そのアーティストとしての自由と声を接收されないように求めて

います。ピンクウォッシングは、あなたに、テルアビブ市 LGBT 広報担当者である Yaniv Weizman の言葉を借りれば、「イスラエルの大使の一人 ("[an ambassador for Israel](#)") 」となることを求めているのです。

あなたの作品は、イスラエルがガザのパレスチナ人たちに対して**おこなったあらたな虐殺**から何日もたたないテルアビブで、[TLVFest のプログラムとして] 上映されます。殺されたなかには子どもたちもいます。1 万 2,000 人を超える人びとが負傷させられました。その多くが脚を切断する必要があるほど深刻な怪我を負っています。イスラエルはプライドと TLVFest を、パレスチナの家族たちが愛するものを失った悲しみにくれているただなかで、祝うのです。**各国政府**がイスラエルの責任を追及しようとしないうちで、アパルトヘイト体制の南アフリカに対してのものがそうであったように、国際的な市民社会からのプレッシャーは、効果的な要求の方法であり、パレスチナの人々に、自由と正義と平等への、希望を与えるものです。このパレスチナの人々のなかには、パレスチナのクィアたちも含まれています。

LGBTs への不公正にあらがい LGBT の解放のために、LGBT コミュニティーズに可視性をあたえるという重大な役割を担う映画製作者として、イスラエルが提示するミスリーディングなリアリティに、みなさんが見ないままにしていることをやめるよう、わたしたちは望んでいます。そしてみなさんが、TLVFest への参加辞退をつうじて、不公正と占領にあらがう立場を断固として示されることを希望します。

Pinkwatching Israel

Pinkwatching は、パレスチナのクィアたちとそのアライからなる集団で、パレスチナ主導の、自由と正義と平等をもとめる運動である、ボイコット・資本引き揚げ・制裁 (BDS) 運動のなかにいます。わたしたちは、パレスチナの人々への継続する抑圧から注意を逸らせ、さらには正当化するために、ゲイ・ライツを利用するイスラエルとその共犯関係にある諸組織の試みに反対しています。